# ~次代へつなぐ豊かな農業・農協と地域社会をめざして~

# 2017-L期-JA佐渡の経営内容



写真: 佐渡産西洋いちじく「ビオレソリエス」

#### プロフィール

設		立	平成5年8月1日
本 店	所 在	地	新潟県佐渡市原黒 300-1
出	資	金	25. 6億円
総	資	産	1,197億円
組合	員	数	15,715人 (正組合員8,140人·准組合員7,575人)
職	員	数	442人
店	舗	数	本店、支店 9店

(平成29年8月31日現在)

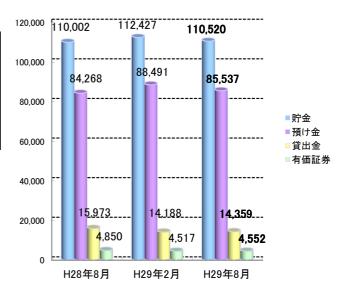
## 平成29年8月末 JA佐渡の経営状況は次のとおりです。

#### 主要勘定の状況

(単位:百万円)

月 H29年8月	H29 年 2 月	H28年8月			
27 <b>110,520</b>	112,427	110,002	金		貯
<b>85,537</b>	88,491	84,268	金	け	預
38 <b>14,359</b>	14,188	15,973	金	出	貸
7 <b>4,552</b>	4,517	4,850	券	価 証	有

- ○個人貯金の残高は、前年実績を上回ったものの、総貯金残高では 公金が大きく減少し前期末より約8億円下回りました。
- ○預け金残高は、貸出金、有価証券運用の減少を反映して着実な信 連預金を中心に残高増となりました。
- ○貸出金は、公金等の大口資金の返済による減少が大きく影響し、 新規に証書貸付約 12 億円を実行しましたが残高は前期末より 21 億円減少しました。
- ○有価証券残高は、低金利の状況から運用残高を伸ばせませんでした。



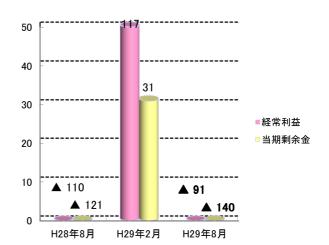
#### 経営収支の状況

(単位:百万円)

_						
				H28年8月	H29 年 2 月	H29年8月
経	常	収	益	3,754	8,369	3,807
経	常	費	用	3,864	8,252	3,898
経	常	利	財	<b>▲</b> 110	117	<b>▲</b> 91
当	期乗	1 余	金	▲121	31	<b>▲</b> 140
未	処分	剰余	金	1	114	_

○平成28年度の事業総利益は前年を46百万円上回り、かつ事業管理 費で前年を38百万円下回ったことから、事業利益で68百万円の黒 字計上となりました。

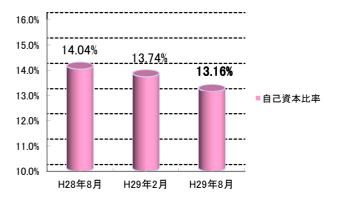
また、最終損益についても 31 百万円の当期剰余金を計上することができました。



## 単体自己資本比率(推計値)

(単位:百万円、%)

	H28 年 8 月 (推計値)	H29 年 2 月	H29 年 8 月 (推計値)
自己資本額(A)	5,793	5,856	5,738
リスクアセット(B)	41,245	42,603	43,599
自己資本比率 (A)÷(B)×100	14.04%	13.74%	13.16%程度



8月末の単体自己資本比率(推計値)は平成29年2月末の自己資本額・信用リスクアセット額・オペレーショナルリスク相当額を基準に、8月末までの資産増減から推計した信用リスクアセット増減額により算出しています。

#### 自己資本比率の算出方法について

〇出資金や利益準備金、諸積立金等の自己資本額を「分子」に、資産のリスクに応じてウエイトづけをした総 資産等(リスク・アセット)を「分母」として算出しています。

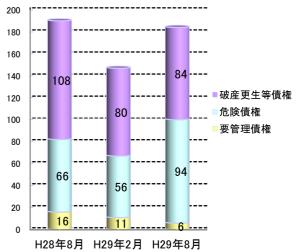
※リスク・アセットとは…万一の場合、貸し倒れの危険性がある資産を項目ごとに貸し倒れのリスクに応じた掛目(リスクウェイト)を乗じた 総額をリスク・アセットといいます。

#### 不良債権の状況

#### 金融再生法開示債権(法施行規則第4条の規定によるもの)

(単位:百万円)

	H 28 年 8 月	H29 年 2 月	H29 年 8 月
破産更生等債権①	108	80	84
危険債権2	66	56	94
要管理債権③	16	11	6
小計(①+②+③=A)	191	148	185
正常債権④	16,019	14,249	14,407
債権額合計(A+④=B)	16,210	14,397	14,593
債権額に占める開示債権の 割合(A÷B×100)	1.17%	1.03%	1.27%



#### 開示債権と保全の状況(平成 29 年 8 月)

当組合では、厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資産の健全性の確保に努めています。

(単位:百万円)

	自己査定と保全の状況								金融再生法 (経済債権		リスク管理	理債権
債	務	者	区	分	残高 A	担保等保全額 B	貸倒引当金 C	保全率(B+C)÷A	区分	残高	区分	残高
破		綻		先	19	48	67	100.0%	破産更生等	84	破綻先債権	8
実	質	破	綻	先	96	40	67 100.0%		債 権	04	7元:世/生/午	100
破	綻	懸	念	先	122	103	18	100.0%	危険債権	94	び	169
<b>—</b>	要	管理会	<del>先</del>		6	2	0	47.1%			3ヵ月以上延滞債権	-
要注意先						_			要管理債権	6	貸出条件	6
	70	の他望	<b>英注</b> 音	<b>多</b> 牛	943						緩和債権	
		د تا ر	× /_ /.	5.76	010				正常債権	14.407	合計	184
正		常		先	16,318				止市惧惟	14,407		
合				計	17,506				合 計	14,593		

#### リスク管理債権について

- 1. 「破綻先債権」とは、未収利息を計上しなかった貸出金(貸倒償却を行った部分を除きます。以下「未収利息不計上貸出金」といいます。)のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由または同項第4号に規定する事由が生じている貸出金です。
- 2. 「延滞債権」とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として 利息の支払を猶予したもの以外の貸出金です。
- 3. 「3カ月以上延滞債権」とは、債務者が利息または元本の支払いを3カ月以上延滞している貸出金です。
- 4. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金です。

#### 金融再生法開示債権について

- 1. 「破産更生等債権」とは、金融再生法に規定する「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」のことで、破産・会社更生・再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
- 2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 3. 「要管理債権」とは、「破産更生等債権」および「危険債権」を除く3カ月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。
- 4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないもので、「破産更生等債権」「危険債権」「要管理債権」 以外の債権です。

#### 有価証券等時価情報

(単位:百万円)

<b>原</b> 左 豆 八		平成 28 年 8 月		平成 29 年 8 月		
保有区分	取得価格	時 価	評価損益	取得価格	時 価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	_	-	-	-	-
その他	4,679	4,850	170	4,427	4,599	172
合 計	4,679	4,850	170	4,427	4,599	172

(注)1. 有価証券の時価は期末時(2月末)における市場価格等によっております。

# 地域経済・くらしへの貢献

当JAの資金は、その大半が組合員のみなさまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を財源とし、これを生産拡大等の設備投資を必要とする組合員の皆様等に資金としてご利用いただいております。特に、佐渡においては、農業が島の経済に及ぼす影響が大きく、JAは地域農業の維持発展を通して地域に貢献していくという「農業メインバンク」として社会的責任を担っております。

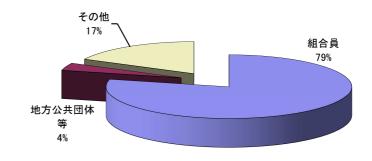
また、年金相談会の定期開催や、融資センターでの平日の営業時間延長や土日の融資相談など利便性の向上、各地域におけるキャッシュサービスコーナーの設置など、地域の皆様のくらしの支援活動に取り組みながら佐渡における「生活メインバンク」として機能発揮に努めております。

#### 地域からの資金調達の状況

組合員・地域のご利用者の皆様に信頼され、大切な財産(貯金)をお預かりしております。

(単位:百万円)

残 高	種類							
87, 050	員	組 合 員						
4, 148	体	寸	共	公	方	地		
19, 321	そ の 他							
110, 520	合 計							

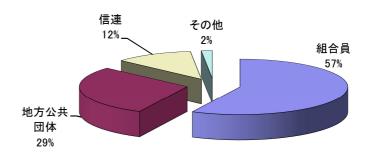


#### 地域への資金供給の状況

組合員の皆様をはじめ、地域の皆様に必要な資金をご融資し、地域経済の発展に貢献しております。

(単位:百万円)

	種類	残 高	
組	合	員	8, 221
地	方 公 共 団	体	4, 221
信		連	1, 680
そ	Ø	他	236
	合 計		14, 359



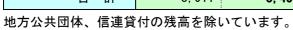
#### 農業メインバンク機能強化への取り組み

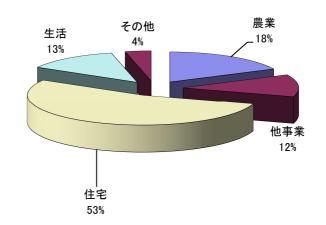
地域密着型金融事業を基本として、農業融資専任担当者による農業者・法人への訪問活動を実施し、ご融資の相談に応じる態勢を整えております。あわせてTAC(営農経済渉外活動)等他部門と連携した相談機能の充実をはかっております。こうした活動を円滑に実施するため「JAバンク農業金融プランナー」の資格取得を促進し、農業者に対する適切な資金対応ができる農業融資担当者の育成をはかっております。また、JAグループ新潟およびJA佐渡独自の利子助成制度による農業者の実質負担金利の軽減をはかるなど、農業者支援の取り組みを行っております。

#### 貸出金の資金使途別等の残高

〔貸出金〕 (単位:百万円)

種類	H28 年 8 月	H29 年 8 月
農業資金	1, 568	1, 508
その他事業資金	761	1, 010
住宅関連資金	4, 284	4, 531
生活関連資金	1, 068	1, 099
その他	329	306
合 計	8, 011	8, 454





#### 自己改革の取り組み

平成 26 年度より始まった国による「農協改革」の動きに対し、JAグループは独自に「自己改革」を設定しJAグループを挙げて取り組んでいます。当JAでは第8次中期3カ年計画(平成28年~30年度)に準拠しJA佐渡「自己改革工程表」を作成し、地域座談会や支店別総代懇談会、青年部や女性部等の多様な組織協議に付して、以下の取り組みをすすめております。

#### ◆農業振興等に関する取り組み

佐渡米は最重要課題である 1 等米比率 90%以上の達成に向け「佐渡米未来プロジェクト品質向上 90」に引き続き取り組み、延べ 360 会場での現地指導会等を実施しました。おけさ柿は消費宣伝と需要の喚起による価格の高位安定を図るため、島内・県内はもとより京浜、北海道での販売促進活動に生産者も含めて取り組みました。また、付加価値を高めるため新設した 2 基の冷蔵施設を活用し、「冷蔵柿」の取り扱いを拡大しました。園芸は新たな野菜産地化を目指したアスパラガスの生産振興に取り組み、平成 30 年度に向け 5 ヘクタールの栽培面積と生産者数 60 名を見通せる段階に至りました。畜産振興については、大型和牛繁殖支援施設の 1 期工事が平成 29 年 3 月末に完了し、繁殖素牛も52 頭導入しました。

#### ◆生産資材価格低減の取り組み

肥料価格については、大口奨励や自己引取り値引き、早期納品奨励など、各種奨励措置の拡充、新設によりJAへの予約結集に取り組み、平成30年度の予約肥料価格は平均で16%の価格引き下げを行いました。燃料についても、農繁期キャンペーン等の各種キャンペーンを通じ燃料価格の引き下げに取り組みました。

#### ◆出向く体制に関する取り組み

平成 28 年度より導入した農機巡回サービスとTACや農業融資担当との連携を通じ、中核的担い手との信頼関係の強化、特に「にいがた農業応援ファンド」や各種補助事業の活用提案、生産コスト低減の一環としての農業機械の事前・事後点検活動に取り組みました。農業融資では、補助金活用とのセットで「担い手支援資金 (アグリ 1)」を中心

に出向く融資活動として提案活動を行いました。

#### ◆地域の活性化に関する取り組み

店舗、共同利用施設などのバリアフリー化など高齢化社会に配慮した店舗、施設づくりなど計画的に施設整備を進 めています。また、福祉活動・地域のボランティア活動、「佐渡ふれあい福祉会」や「ほほえみ会」、「女性部」等と連 携しながら福祉活動やボランティア活動に取り組んでいます。

#### ◆組合員の意思反映に関する取り組み

地域座談会のほか、生産者組織、青年部、女性組合員などの組織活動を通じた意思反映に取り組むとともに、准組 合員、事業利用者などへの積極的な情報発信と意見集約により事業改善に取り組んでいます。また、農業後継者など 次世代層からの正組合員への加入促進を進めます。

#### これからも地域と共にあるJAを目指して

当JAでは、営農・金融事業のほかにも各種事業活動やグループ会社の活動を通じて、組合員をはじめ地域住民の 暮らしの応援を行っております。

: 食料品を中心とした「くらしの拠点」として、各地区に7店舗、佐渡総合病院にそれぞれ売 ◇Aコープ店

店を設置しております。地場産農産物の販売などで、地域のくらしと農業生産活動の橋渡し役

として店舗運営を行っております。

◇農産物直売所 : 平成26年8月にオープンしたJA直営直売所

「新鮮空間 よらんか舎」と「菜菜きて屋まの」、 Aコープ各店でのインショップ方式による産直 コーナーを通じて、農家の皆様と一緒に地域の消

費者へ安全、新鮮な品物をお届けしています。

◇セレモニーホール: 増加するホール葬需要に応えるために、グルー

プ会社の運営により島内2か所にセレモニーホ ールを設置しております。また、自宅葬や出張葬 など幅広いニーズへの対応を行っております。

◇セルフスタンド : 本土に比べ高い島内のガソリン等の価格の引

き下げの牽引的役割として、セルフ方式のガソ

リンスタンドを島内3か所に設けております。

◇総合ポイント制度: 各種事業のご利用に応じて会員の皆様へのポイントによる還元サービスを行っております。

現在会員数は約29,300名のご加入をいただいております。

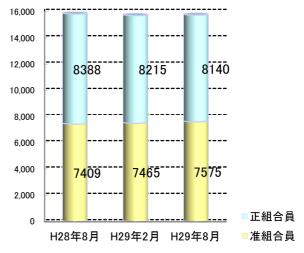
★このようにJA佐渡は組合員、地域の皆様の営農とくらしに密着した様々な事業とともに、組合員加入運動に取り 組んでおります。

#### 組合員数の推移

(単位:組合員数)

				H28年8月	H29 年 2 月	H29年8月
正	組	合	員	8,388	8,215	8,140
准	組	合	員	7,409	7,465	7,575
組	合	員	計	15,797	15,680	15,715



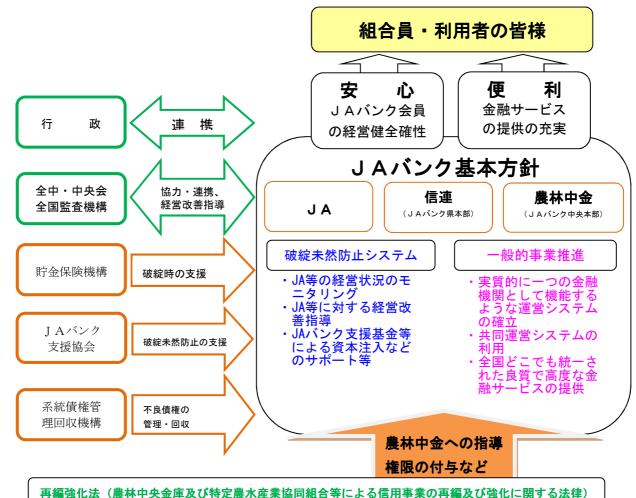


#### 皆様の大切な貯金を安心バンク、JAバンクが守っています。

### JAバンクシステム

JAバンクは、JAバンク会員(JA・信連・農林中金)で構成するグループの名称であり、組合員・利用者のみなさまに便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を活かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業推進」の2つを柱で成り立っています。



4編烛化法(展外中央並厚及ひ符定展外性未協向組合寺による信用争耒の冉編及ひ蚀化に関する法律

# JAバンク・セーフティーネット

# 貯金保険制度

- ●貯金者を保護するための国の公的な制度で、貯金保護の範囲は「預金保険制度」と同じです。
- ●貯金業務を取り扱う全てのJA・県信連・農林中央金庫などが加入しています。

# +

# 破綻未然防止システム

- ●全国のJAバンクが協力して個々のJA を支援する、独自の制度である「相互援助 制度」を一層充実・強化しています。
- ●「破綻未然防止システム」とは、JAの経営状況のチェック(モニタリング)、経営改善への取り組み、「JAバンク支援基金」によるサポートを行う仕組みです。



### 編集 佐渡農業協同組合 総務部

〒952-8502

#### 新潟県佐渡市原黒300番地1

TEL 0259-27-6161

FAX 0259-27-6170

E-1-1 kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp

ホームへ゜ーシ゜http://www.ja-sado-niigata.or.jp/

JA佐渡

